

公益社団法人日本新体操連盟

平成 28 年度第 1 回総会議事録

1. 会議名： 平成 28 年度第 1 回総会
2. 日時： 平成 28 年 6 月 20 日（月） 14 時 00 分～14 時 30 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席代議員数： 16 名
以下出席社員
熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所)
藤野 朱美(Diana)
秋山 久世(ASKA・RG)
飯田 まぶき(インタークオレス)
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)
横山 眞理子(ピュアR. G)
曾我部 美佳(町田RG)
村上 佳子(Ribbon 新体操クラブ)
玉野 有美(Shaleur R.G)
橋爪 みすず(ポーラ☆スターRG)
加藤 弘美(STELLA)
寺田 江身子(R. G. C. 富士 スターリス ジュニア)
芳野 操(樟蔭ジュニア)
梅田 雅代(明石RG)
松島 博子(広島オーキス新体操クラブ)
土屋 瑞恵(土屋RGクラブ)
6. 欠席代議員数： 4 名
7. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）福本 隆（副 会 長）
池田真喜子（専務理事）山崎 浩子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理 事）谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）
宮嶋 泰子（理 事）守永 直人（理 事）
以上 11 名
8. 欠席役員： 関田史保子（副 会 長）岡 久留実（理 事）崇島 慎一（理 事）
谷原 誠（理 事）小島浩二郎（監 事）
以上 5 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告承認について（定款第 4, 12 条関連事項）
第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告承認について（定款第 4, 12 条関連事項）
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
（公社）日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
(2) 議事録署名人の選出
定款第 18 条により、議長は議事録署名人を石崎朔子副会長と山崎浩子常務理事にする事を議場に諮り承認された。
(3) 定足数の確認
定款第 17 条により総会出席者数 16 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) 議決事項

第1号議案 平成27年度・事業報告承認について（定款第4,12条関連事項）

議長は説明者として石崎朔子副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成27年度登録状況報告について

平成27年度は

加盟団体数	547 団体
登録選手数	8,269 名
愛好者数	29,422 名
審判員数	1,196 名
指導者数	1,445 名

であった。子どもの人口減少などにより登録クラブ数が減っているものと思われる。

2. 「第24回全日本新体操クラブ選手権」について

8月21日から23日に「東京体育館」にて開催した。

参加者数は 241 クラブ 723 名の参加

クラブ対抗はイオンが6大会連続22回目の優勝

シニアは河崎羽珠愛選手

ジュニアは喜田純鈴選手

が優勝した。

3. 「第15回全日本新体操クラブ団体選手権」について

9月26、27日「東京体育館」にて開催した。

参加者は126クラブチーム798名が参加した。

競技では、「シニアの部」でエンジェルRGカガワ日中が2連覇

「ジュニアの部」では「すみれRG」が3年連続4回目の優勝を飾った。

4. 「イオンカップ2015世界新体操クラブ選手権」について

大会は10月2日から4日にかけて「東京体育館」にて開催した。

大会にはロシアのマムーン選手ら世界トップ選手が集まった。

競技では、マムーン選手擁するロシア「ガस्पロム」が16回連続18回目の優勝を飾った。

シニアではマムーン選手が2連覇、ジュニアでもロシアのエルモーロワ選手が初優勝を飾った。

日本選手団では、「イオン」が昨年に続き4位入賞を果たし、シニアでは早川選手が6位入賞、ジュニアでは喜田純鈴選手が5位に入賞するなど活躍を見せた。

5. 「第16回日本新体操祭」

「イオンカップ」2日目の10月3日「東京体育館」で開催した。

参加者数は49クラブ1439名であった。

大変多くの参加者とそれをご覧になるお客様で、大変盛況であった。

6. 「第18回全日本新体操チャイルド選手権」

「第15回全日本新体操キッズコンテスト」について

今回は368クラブ802名の参加者を集め、2月26日から28日にかけて「東京体育館」にて開催した。

5・6年生の部で「イオン」の末永柚月選手が、
3・4年生の部は「エンジェル RG カガワ日中丸亀」の白川愛侑子選手が初優勝を飾った。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第1号議案「平成27年度・事業報告承認」について全会一致可決された。

第2号議案「平成27年度・収支決算報告」について（定款第4,12条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 収支決算

資料には平成27年度の予算と実績を記載している。

「登録費」について

予算を昨年実績並みで組んでいたが、少子化の影響で登録数が減少し、予算より少ない会費収入1155万7800円となった。

「世界新体操クラブ選手権」について

予算については景況感が不明なため、実績より少な目の予算を組んでいたが、スポンサー収入が実績より微増し、約1600万円予算より多い2億4530万1237円の収入があった。

支出については、昨今の今大会人気による、参加チーム数の増加、宿泊費高騰の影響により、2億3957万8646円の支出となった。

「国内大会」について

国内各大会は参加者が増加したため、クラブ選手権収入が150万円ほど増加し、1589万6531円。団体選手権は、829万1868円。チャイルド選手権は1912万2449円となった。支出も参加数増加のため予算より微増となったが、増加した収入分の範囲内となった。

「選手強化合宿」「指導者海外研修会」について

開催募集したが、応募人数が最低開催人数に満たなかったため、中止とした。そのため収入、支出ともに0円計上。

以上により、平成27年度事業活動収入合計は3億522万3754円。事業費支出計が2億8704万4449円。管理費がほぼ予算計上通りで1484万920円。事業費支出と管理費を合わせ、3億188万5369円が27年度の支出合計となった

27年度収入から、支出を差し引き333万8385円が当期収支差額となった。

前期繰越金1097万2199円に当期収支差額333万8385円を足し1431万584円が次期繰越となった。

2. 貸借対照表、財産目録

27年度は流動資産が1492万7310円。未収入金216万円はイオンカップスポンサー収入の未収分。流動負債は給与所得税、社会保険の預り金で26万6640円。3月開催総会交通費35万86円を未払費用に計上。平成28年3月31日時点の正味財産は昨年度より、333万8385円増加し、基本財産、資産等含め3593万4640円となった。

3. 監事承認

この決算内容は本連盟監事より、承認いただいていることを合わせて報告した。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成27年度・収支決算報告承認」について全会一致可決された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが、提案、報告はなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成28年6月20日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成28年度第1回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 福 本 隆

同 関 田 史保子